

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使うとほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

多職種で行う骨粗鬆症リエゾン外来の効果

●研究の対象

2021年8月1日から2023年12月31日に京都第二赤十字病院 骨粗鬆症リエゾン外来を受診した、初診後1年を経過する患者さんを対象とします。

●研究の目的

骨粗鬆症になると「軽く転んだ」「尻もちをついた」等の日常動作で背骨や太もものつけ根などの骨折を生じやすくなります。骨折の治療中に全身状態が低下し、寝たきりになるおそれもあるため、骨折の予防（骨粗鬆症の治療）が重要となります。

京都第二赤十字病院では、骨粗鬆症治療を支援する取り組みとして2021年8月より骨粗鬆症リエゾン外来を開設しています。骨粗鬆症リエゾン外来は医師、薬剤師、管理栄養士、骨粗鬆症リエゾンマネージャーがそれぞれ患者指導を行う多職種外来であり、その中で薬剤師は、医師への情報提供や処方提案、効果および副作用モニタリング、患者への服薬指導や歯科受診勧奨等を行っています。

この研究では、これまでの当院の取り組みを分析することによって骨粗鬆症リエゾン外来の有用性を検討します。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2024年11月30日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：

新規骨折率、骨密度（YAM値）、血清補正カルシウム濃度、歯科受診状況、医師への情報提供内容

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 薬剤部 福田 喬士

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：薬剤部 福田 喬士

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）